

就職・進学状況について

令和5年5月1日現在

	学生数 (4年生)	卒業生数	就職希望者数												進学希望者数	就職・進学 をしない者
			計	就職率	一般企業	官公庁、独法 (除:病院)、 公立保育所・幼 稚園	教員	福祉 (施設・機関・団 体)	幼保施設 (私立)	病院 (含:独法、公 立)・診療所	養護教諭	その他の就職 (NPO・起業含む) ※希望進路不明者 含む				
公共社会学科	56	55	52 (50)	96.2%	36 (35)	11 (10)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1		
男	26	25	25 (23)	92.0%	16 (15)	5 (4)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0		
女	30	30	27 (27)	100.0%	20 (20)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1		
社会福祉学科	56	52	47 (47)	100.0%	3 (3)	10 (10)	1 (1)	20 (20)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	3		
男	10	8	7 (7)	100.0%	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1		
女	46	44	40 (40)	100.0%	2 (2)	10 (10)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	2		
人間形成学科	56	52	34 (34)	100.0%	7 (7)	11 (11)	0 (0)	4 (4)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	8		
男	7	5	4 (4)	100.0%	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1		
女	49	47	30 (30)	100.0%	6 (6)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	7		
人間社会学部	168	159	133 (131)	98.5%	46 (45)	32 (31)	2 (2)	27 (27)	12 (12)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	12		
男	43	38	36 (34)	94.4%	18 (17)	6 (5)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2		
女	125	121	97 (97)	100.0%	28 (28)	26 (26)	1 (1)	18 (18)	12 (12)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	10		
看護学部 看護学科	100	89	74 (74)	100.0%	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	58 (58)	8 (8)	0 (0)	10 (10)	5		
男	5	4	3 (3)	100.0%	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1		
女	95	85	71 (71)	100.0%	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	55 (55)	8 (8)	0 (0)	10 (10)	4		
大学全体	268	248	207 (205)	99.0%	46 (45)	40 (39)	2 (2)	27 (27)	12 (12)	72 (72)	8 (8)	0 (0)	24 (24)	17		
男	48	42	39 (37)	94.9%	18 (17)	6 (5)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3		
女	220	206	168 (168)	100.0%	28 (28)	34 (34)	1 (1)	18 (18)	12 (12)	67 (67)	8 (8)	0 (0)	24 (24)	14		

※括弧内は内数で就職決定者数。

※希望する進路が不明の者は、「その他の就職(NPO・起業含む)」に含め、就職希望者として計算。

※学生数は令和4年5月1日時点。

# 令和4年度卒業生 就職・進学状況(人間社会学部)

令和5年5月1日現在

## 1. 学生の進路希望状況

	4年生数			卒業生数			就職希望者数(A)			進学希望者数			進路未定者 (就職・進学をしない者含む)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公共社会学科	26	30	56	25	30	55	25	27	52	0	2	2	0	1	1
社会福祉学科	10	46	56	8	44	52	7	40	47	0	2	2	1	2	3
人間形成学科	7	49	56	5	47	52	4	30	34	0	10	10	1	7	8
全 体	43	125	168	38	121	159	36	97	133	0	14	14	2	10	12

## 2. 就職状況

	民間企業等			官公庁等			病院・福祉・保育園関係			就職決定者数(B)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公共社会学科	15	20	35	5	6	11	3	1	4	23	27	50
社会福祉学科	1	2	3	0	11	11	6	27	33	7	40	47
人間形成学科	1	6	7	1	10	11	2	14	16	4	30	34
全 体	17	28	45	6	27	33	11	42	53	34	97	131

## 3. 進学状況

	進学者数		
	男	女	計
公共社会学科	0	2	2
社会福祉学科	0	2	2
人間形成学科	0	10	10
全 体	0	14	14

## 4. 就職内定率

	就職率(%) (B/A)		
	男	女	総合
公共社会学科	92.0%	100.0%	96.2%
社会福祉学科	100.0%	100.0%	100.0%
人間形成学科	100.0%	100.0%	100.0%
学部全体	94.4%	100.0%	98.5%

## 5. 求人数

22228件

# 令和4年度卒業生 就職・進学状況(看護学部)

令和5年5月1日現在

## 1. 学生の進路希望状況

	4年生数			卒業生数			就職希望者数(A)			進学希望者数			進路未定者 (就職・進学をしない者含む)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部	5	95	100	4	85	89	3	71	74	0	10	10	1	4	5
全 体	5	95	100	4	85	89	3	71	74	0	10	10	1	4	5

## 2. 就職状況

	就職決定者者数(B)		
	男	女	計
看護学部	3	71	74
全 体	3	71	74

## 3. 進学状況

	進学者数		
	男	女	計
看護学部	0	10	10
全 体	0	10	10

## 4. 就職内定率

	就職率(%) (B/A)		
	男	女	総合
看護学部	100.0%	100.0%	100.0%
学部全体	100.0%	100.0%	100.0%

## 5. 求人数

1044件

# 人間社会学部卒業生の年次別進路状況

令和5年5月1日現在

学科	就職先区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
公共社会学科	官公庁等 (うち教員)	4 (1)	3 (1)	9 (3)	15 (4)	11 (1)
	民間 (うち教員)	48 (0)	48 (0)	41 (0)	33 (0)	39 (0)
	進学	0	0	2	0	2
	その他 (うち未内定者)	6 (1)	1 (0)	1 (0)	5 (3)	3 (2)
	(うち就職・進学しない)	(5)	(1)	(1)	(2)	(1)
	計	54	52	53	53	55
就職率		98.1%	100.0%	100.0%	94.1%	96.2%
社会福祉学科	官公庁等 (うち教員)	7 (0)	9 (0)	4 (0)	8 (0)	11 (1)
	民間 (うち教員)	44 (0)	49 (0)	47 (0)	38 (0)	36 (0)
	進学	2	1	0	1	2
	その他 (うち未内定者)	1 (0)	2 (0)	6 (0)	3 (0)	3 (0)
	(うち就職・進学しない)	(1)	(2)	(6)	(3)	(3)
	(うち病気療養)					
計	54	61	57	50	52	
就職率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人間形成学科	官公庁等 (うち保育士・幼稚園教諭)	12 (10)	14 (12)	10 (7)	11 (7)	11 (7)
	民間 (うち保育士・幼稚園教諭)	37 (15)	36 (16)	25 (10)	33 (8)	23 (11)
	進学	6	7	10	10	10
	その他 (うち未内定者)	2 (0)	0 (0)	9 (3)	7 (0)	8 (0)
	(うち就職・進学しない者)	(2)	(0)	(6)	(2)	(3)
	(うち病気療養)				(3)	(1)
	(うち進学希望者)				(2)	(4)
	計	57	57	54	61	52
就職率		100.0%	100.0%	92.1%	100.0%	100.0%
合計	官公庁等	23	26	23	34	33
	民間	129	133	113	104	98
	進学	8	8	12	11	14
	その他 (うち未内定者)	9 (1)	3 (0)	16 (3)	15 (3)	14 (2)
	(うち就職・進学しない)	(8)	(3)	(13)	(7)	(7)
	(うち病気療養)	(0)	(0)	(0)	(3)	(1)
	(うち進学希望者)	(0)	(0)	(0)	(2)	(4)
	計	169	170	164	164	159
就職(内定)者数		152	159	136	138	131
就職希望者		153	159	139	141	133
就職率		99.3%	100.0%	97.8%	97.9%	98.5%

# 看護学部卒業生の年次別進路状況

令和5年5月1日現在

学科	就職先区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
看護学科	保健師・看護師・助産師	68	80	81	73	65
	教員(養護教諭等)	8	8	8	11	8
	民間企業	0	0	1	0	1
	その他の職種	0	0	0	0	0
	進学	9	7	9	7	10
	その他	2	0	0	2	5
	(うち未就職者)	(1)				
	(うち就職・進学しない)	(1)			(1)	(5)
	(うち病気療養)				(1)	
	計	87	95	99	93	89
就職(内定)者数		76	88	90	84	74
就職希望者		77	88	90	84	74
就職率		98.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

# 令和4年度卒業生 人間社会学部 就職・進学実績

令和5年5月1日現在

公共社会学科 [52]	社会福祉学科 [49]	人間形成学科 [44]
<p>●民間企業・団体等 [35]</p> <p>アイドゥー株式会社 SMK株式会社 応研株式会社 大分県信用組合 株式会社アール・エム 株式会社出雲村田製作所 株式会社伊予銀行 株式会社エコア 株式会社エリツツホールディングス 株式会社オムニック 株式会社九電送配サービス 株式会社コーアガス日本 株式会社ザイマックスサラ 株式会社ソフトウエア・サイエンス 株式会社ソフトサービス 株式会社第一コンピュータサービス 株式会社ディスコ 株式会社富士薬品 株式会社ホープ 株式会社ミラク 株式会社メフォス 株式会社丸菱ホールディングス 株式会社ヤマダデンキ 株式会社ローソン コトブキ製紙株式会社 ディップ株式会社 東京海上日動調査サービス株式会社 ドリームデザイン株式会社 パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社 (現 パナソニックマーケティングジャパン株式会社) 富士甚醤油株式会社 豊前東芝エレクトロニクス株式会社 マンパワーグループ株式会社 リゾートトラスト株式会社 レンツホールディングス株式会社 ロンシャン・ジャパン株式会社</p> <p>●官公庁等 [10]</p> <p>厚生労働省兵庫労働局 飯塚市 いわき市 菊池市 田川市 日南市 直方市 津奈木町 愛媛県市町総合事務組合 国立大学法人九州大学</p> <p>●福祉施設(機関・団体) [3]</p> <p>株式会社ドットライン 株式会社三葉 ベストライフ株式会社</p> <p>●病院・医療施設 [1]</p> <p>公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院</p> <p>●教員 [1]</p> <p>大山町立名和中学校</p> <p>●大学院・専門学校等進学 [2]</p> <p>九州大学大学院 三育大学院(韓国)</p>	<p>●社会福祉施設等 [20]</p> <p>社会福祉法人共生の里[3] 社会福祉法人野の花学園[2] 社会福祉法人福岡市社会福祉協議会[2] 株式会社エフ[2] 株式会社木下の介護 株式会社LITALICO 社会福祉法人大分市社会福祉協議会 社会福祉法人大野城市社会福祉協議会 社会福祉法人岡垣町社会福祉協議会 社会福祉法人下関市社会福祉協議会 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 社会福祉法人希望の家 社会福祉法人神湊園 社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会 社会福祉法人福岡市社会福祉事業団</p> <p>●病院・医療施設 [13]</p> <p>医療法人財団つばさ行橋厚生病院 医療法人寿芳会芳野病院 医療法人成晴会堤病院 医療法人積善会千嶋病院 医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 医療法人社団翠会行橋記念病院 社会医療法人婦産会みえ病院 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 特定医療法人弘医会福岡鳥飼病院 特定医療法人豊司会新門司病院 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院 鳥取大学医学部附属病院</p> <p>●官公庁等 [10]</p> <p>大牟田市教育委員会(福祉職) 田川市教育委員会(福祉職) 福岡市教育委員会(福祉職) 宗像市教育委員会(福祉職) 八女市教育委員会(福祉職) 香川県(福祉職) 福岡市(福祉職) 久留米市(福祉職) 上毛町(事務) 福岡県介護保険広域連合</p> <p>●民間企業・団体等 [3]</p> <p>クラウン製パン株式会社 スイスポーツジャパン株式会社 富士ソフト株式会社</p> <p>●教員 [1]</p> <p>田川市立伊田小学校</p> <p>●大学院・専門学校等進学 [2]</p> <p>日本大学 Cebu International Academy(フィリピン)</p>	<p>●幼稚園・保育所(公立) [7]</p> <p>大野城市[3] 福岡市 北九州市 飯塚市 春日市</p> <p>●幼稚園・保育所 [12]</p> <p>社会福祉法人四季の会どろんこ保育園・第2どろんこ夜間保育園[3] 社会福祉法人森友会ひかりの森こども園[2] 学校法人福岡幼児学園紅葉幼稚園[2] 社会福祉法人久遠福祉会久遠保育園・ルンビニ保育園 社会福祉法人聖会有住コスモス保育園 株式会社成学社かいせい保育園 鞍手あゆみこども園 公益財団法人北九州YMCA</p> <p>●民間企業・団体等 [7]</p> <p>イオン九州株式会社 株式会社エム・オー・エム・テクノロジー 株式会社技術開発コンサルタント 株式会社クスリのアオキ 株式会社タップカンパニー 株式会社ゆめマート北九州 九州総合サービス株式会社</p> <p>●社会福祉施設等 [4]</p> <p>株式会社クラ・ゼミ 株式会社ソラスト 株式会社LITALICO 社会福祉法人光明童園児童養護施設湯出光明童園</p> <p>●官公庁等 [4]</p> <p>警視庁(警察官) 大分市(事務) 豊後大野市(事務) 篠栗町(事務)</p> <p>●大学院・専門学校等進学 [10]</p> <p>福岡県立大学大学院[5] 広島大学大学院[2] 大分大学大学院 九州大学大学院 広島修道大学大学院</p>

# 令和4年度卒業生 看護学部 就職・進学実績

令和5年5月1日現在

看護学科 [84]	
●医療施設 [58]	●官公庁(保健師) [8]
産業医科大学病院[6]	北九州市[2]
公立学校共済組合九州中央病院[4]	糸田町
佐賀大学医学部附属病院[3]	大刀洗町
福岡大学病院[2]	長崎市
独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院[2]	東広島市
社会医療法人大成会福岡記念病院[2]	東京都杉並区
社会福祉法人恩賜財団済生会福岡県済生会福岡総合病院[2]	松本市
社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会二日市病院[2]	
公益社団法人福岡医療団千鳥橋病院[2]	●教員(養護教諭) [8]
一般財団法人平成紫川会小倉記念病院[2]	福岡県立東鷹高等学校
山口大学医学部附属病院[2]	福岡県立八幡中央高等学校
神戸大学医学部附属病院[2]	福岡県立築城特別支援学校
九州大学病院	福岡市立香椎第一中学校
産業医科大学若松病院	久留米市立南筑高等学校
久留米大学病院	大牟田市立大正小学校
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	糸田町立糸田小学校
独立行政法人労働者健康安全機構総合せき損センター	和泉市立黒鳥小学校
地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院	
地方独立行政法人北九州市立病院機構	●大学院・専門学校等進学 [10]
医療法人相生会福岡みらい病院	久留米大学大学院[3]
社会医療法人青洲会百年橋リハビリテーション病院	福岡県立大学大学院
社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院	鹿児島大学大学院
社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	長崎県立大学大学院
みみ・はな・のど せがわクリニック	熊本保健科学大学
兵庫医科大学病院	早稲田医療技術専門学校
大阪公立大学医学部附属病院	代々木アニメーション学院
東京医科大学病院	GLOBAL VILLAGE VICTORIA(カナダ)
日本医科大学付属病院	
日本大学医学部附属板橋病院	
兵庫県立こども病院	
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	
独立行政法人地域医療機能推進機構下関医療センター	
地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター西市民病院	
医療法人財団明理会鶴川サナトリウム病院	
医療法人社団福寿会	
医療法人けんゆう会レジーナクリニック	
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター	
宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院	

## 国家試験合格者の推移

### 【社会福祉士】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
21期生	H27年度	52	38	73.1%	44,764	11,735	26.2%
22期生	H28年度	51	32	62.7%	45,849	11,828	25.8%
23期生	H29年度	57	38	66.7%	43,937	13,288	30.2%
24期生	H30年度	50	39	78.0%	41,639	12,456	29.9%
25期生	R1年度	57	45	78.9%	39,629	11,612	29.3%
26期生	R2年度	52	35	67.3%	35,287	10,333	29.3%
27期生	R3年度	45	33	73.3%	34,563	10,742	31.1%
<b>28期生</b>	<b>R4年度</b>	<b>46</b>	<b>43</b>	<b>93.5%</b>	<b>36,974</b>	<b>16,338</b>	<b>44.2%</b>

### 【精神保健福祉士】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
21期生	H27年度	20	19	95.0%	7,173	4,417	61.6%
22期生	H28年度	13	13	100.0%	7,174	4,446	62.0%
23期生	H29年度	17	15	88.2%	6,992	4,399	62.9%
24期生	H30年度	12	11	91.7%	6,779	4,251	62.7%
25期生	R1年度	15	14	93.3%	6,633	4,119	62.1%
26期生	R2年度	10	10	100.0%	6,165	3,955	64.2%
27期生	R3年度	11	10	90.9%	6,502	4,267	65.6%
<b>28期生</b>	<b>R4年度</b>	<b>14</b>	<b>14</b>	<b>100.0%</b>	<b>7,024</b>	<b>4,996</b>	<b>71.1%</b>

### 【看護師】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
10期生	H27年度	73	73	100.0%	56,414	53,547	94.9%
11期生	H28年度	84	80	95.2%	56,381	53,177	94.3%
12期生	H29年度	90	90	100.0%	57,929	55,764	96.3%
13期生	H30年度	86	84	97.7%	58,308	55,216	94.7%
14期生	R1年度	95	95	100.0%	59,320	56,175	94.7%
15期生	R2年度	99	98	99.0%	59,593	56,868	95.4%
16期生	R3年度	93	92	98.9%	59,148	57,057	96.5%
<b>17期生</b>	<b>R4年度</b>	<b>89</b>	<b>83</b>	<b>93.3%</b>	<b>58,911</b>	<b>56,276</b>	<b>95.5%</b>

### 【保健師】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
10期生	H27年度	13	13	100.0%	8,295	7,684	92.6%
11期生	H28年度	13	13	100.0%	7,590	7,172	94.5%
12期生	H29年度	15	15	100.0%	7,675	6,572	85.6%
13期生	H30年度	13	13	100.0%	7,456	6,567	88.1%
14期生	R1年度	12	12	100.0%	7,318	7,050	96.3%
15期生	R2年度	13	13	100.0%	7,281	7,094	97.4%
16期生	R3年度	10	9	90.0%	7,504	6,975	93.0%
<b>17期生</b>	<b>R4年度</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>100.0%</b>	<b>7,477</b>	<b>7,235</b>	<b>96.8%</b>

### 【助産師(大学院)】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
1期生	H28年度	4	3	75.0%	2,044	1,904	93.2%
2期生	H29年度	6	6	100.0%	2,087	2,074	99.4%
3期生	H30年度	4	4	100.0%	2,079	2,076	99.9%
4期生	R1年度	6	6	100.0%	2,098	2,088	99.5%
5期生	R2年度	6	6	100.0%	2,097	2,091	99.7%
6期生	R3年度	5	5	100.0%	2,078	2,071	99.7%
<b>7期生</b>	<b>R4年度</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>66.7%</b>	<b>2,055</b>	<b>1,971</b>	<b>95.9%</b>

(参考)

### 【助産師(学部)】

福岡県立大学(現役合格者)				全 国			
学生期		受験者	合格者	合格率	受験者数	合格者数	合格率
1期生	H18年度	8	7	87.5%	1,587	1,508	95.0%
2期生	H19年度	8	8	100.0%	1,631	1,604	98.3%
3期生	H20年度	8	8	100.0%	1,709	1,708	99.9%
4期生	H21年度	8	6	75.0%	1,896	1,577	83.2%
5期生	H22年度	10	9	90.0%	2,097	2,059	98.2%
6期生	H23年度	9	9	100.0%	2,064	1,982	96.0%
7期生	H24年度	7	7	100.0%	2,010	1,987	98.9%
8期生	H25年度	7	7	100.0%	2,042	1,993	97.6%
9期生	H26年度	8	8	100.0%	1,976	1,975	99.9%

※助産師はH27年度の受験者なし(助産課程の大学院移行のため)



## 退学者数・留年者数の状況について（令和4年度）

## ■ 退学者数

年度	計	1年次	2年次	3年次	4年次（含留年者）
2018（H30）年度	7	公共1	公共1	看護1	福祉1/形成1/看護2
2019（R1）年度	4	公共1/看護1	福祉1	0	看護1
2020（R2）年度	6	福祉3/形成1	看護1	看護1	0
2021（R3）年度	14	看護1	福祉2/形成2/ 看護1	公共2/福祉1/ 形成1/看護3	公共1
2022（R4）年度	9	0	福祉1/看護3	形成1	公共1/福祉1/形成1/ 看護1

- ・令和4年度は、退学者が昨年度と比較して減少したが、それ以前と比較すると若干増加している。
- ・4年次の退学者4人のうち、3人（公共、福祉、看護）は留年者であった。
- ・1年次の退学者は全学科0であった一方、2年次以降一定の退学者が存在する。
- ・授業参加が滞っている学生や休学中の学生につき、本人の状態に配慮しつつ可能な範囲で大学との接点を維持することにより、不本意な退学を避けるための支援を行っていく必要がある。

## ■ 留年者数

年度	計	公共	福祉	形成	看護
2018（H30）年度	18	6	6	2	4
2019（R1）年度	19	2	5	2	10
2020（R2）年度	19	2	4	3	10
2021（R3）年度	14	5	2	4	3
2022（R4）年度	18	4	3	1	11

※留年者……その年度の4年を超えて在籍している者。

- ・令和3年度の全体の留年者数は、過去4年と比較して概ね同数程度である。
- ・公共社会学科の留年者数は、若干減少した。
- ・社会福祉学科の留年者数は、若干増加した。
- ・人間形成学科の留年者数は、減少した。
- ・看護学科の留年者数は、昨年度と比較すると大幅に増加した（R1、R2年度とはほぼ同数）。留年理由としては、留学が2名、養護教諭コースの追加履修が2名、出産育児のための卒業延期が1名、進路検討・経済的理由などが6名であった。
- ・履修状況に課題のある学生については、教務担当やアドバイザー教員等による指導を早期に行うことで、学習の遅れによる留年者数を減少させる必要がある。

## 令和5年度 卒業生アンケートの結果について（公共社会学科）

## ◎ 趣旨

令和5年8月に実施した卒業生アンケートのうち、公共社会学科卒業生の回答傾向について整理するもの

## 1 回答者について

- ・ 令和2年度卒業生の発送数48に対して、回答数は14となっており、回答率は全学の31.0%と比較して同程度の結果となっている。昨年度と比較して回答率は大きく向上したものの、サンプル数から考えると、回答結果については、やはり限定的なものであるという点に留意して整理する必要があるものと考えられる。
- ・ 回答者の業種は多様であり、職種は「金融・保険業」と「官公庁」が若干多い。勤務地も福岡県内が多いものの、やはり多様な結果となっている。14名のうち、6名が「転職を考えている」となっており、回答傾向は全学のものと大きく変わらないが、卒業後2年が経過した段階としては、就職先での定着志向が低いことがうかがえる。

## 2 授業・活動について

- ・ 「専門科目」や「ゼミ」については、「有意義だった」あるいは「どちらかといえば有意義だった」が大半を占めており、特に「ゼミ」が「有意義だった」という回答の比率は、大学全体と比較しても10ポイント程度高くなっている。この点からは、学科教育について一定の評価が得られているものと理解されよう。
- ・ 「ボランティア」については、「経験なし」の回答が最も多く、また全学の結果と比較して、評価も低い結果となっている。一方で、「友人との交際」や「アルバイト」については、有意義と評価する回答の比率が相対的に高くなっている。現場での実習の少なさや社会との関わり重視といった、他学科との教育内容の相違点が、上述の回答傾向の違いに影響しているのではないかと考えられる。

## 3 大学での学びの成果について

- ・ 今回の調査では、「大学での学びを活かしているか」という設問に変更され、全般的に肯定的な回答の割合が全学の回答傾向と比較して低いものとなっているが、これは、公共社会学科の教育内容が卒業後の進路と直接的にリンクするケースが相対的に少ないためと考えられる。
- ・ とりわけ、「専門分野の知識」や「専門分野のスキル」、「社会人としてのスキル」といった項目において、肯定的な回答の割合が相対的に低く、その傾向が顕著である。
- ・ 一方で、学科の教育において重視している、「情報を分析する力」や「論理だてて考える力」などの項目で、一定の割合の否定的な回答がある点は、今後の教育のあり方を検討する際に注意すべき内容である。
- ・ そのほか、「さまざまな文化や価値観を受け入れる姿勢」や「さまざまな人たちと協働する力」の項目で「そう思う」の回答の割合が高い点は、カリキュラムや教育内容の成果であると位置づけられよう。

## 令和5年度卒業生アンケート集計結果の考察（社会福祉学科）

社会福祉学科の回答者は20名で、その業種内訳は次の通りである：社会福祉事業10名、医療業5名、官公庁3名、教育・学習支援業1名、人材派遣業1名であった。

「授業・活動について（問6）」の項目において、「有意義だった」と回答した割合が60%を超えたのは4つの項目であり、それぞれ「友人との交際」が85%、「アルバイト」が70%、「専門科目」が65%、「サークル」が60%であった。これらのデータからは、学生が授業だけでなく、課外活動を通じて重要な学びを得ていることが窺える。特に「友人との交際」が高い評価を得ていることは、学生生活における人間関係の重要性を強調している。学生たちがサークルやアルバイト、ボランティア活動などを通じて得たコミュニケーション能力の向上は、記述回答からも読み取れる内容であり、それが社会に出た後の痛感として表れている。

「大学での学びについて（問7）」に関しては、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた回答がすべての項目で70%を超えており、その中でも「専門分野の知識」、「専門分野のスキル」、「さまざまな文化や価値観を受け入れる姿勢」、「さまざまな人たちと協働する能力」が85%で回答率が最も高かった。これは、社会福祉の専門職として必要とされる価値観、知識、技術がしっかりと学生に身に付けていることを示している。そして、この学びの背景には、ほとんどの学生が「相談援助実習」を履修している事実があり、この実習によって、理論的な知識だけでなく、実践的な技術やコミュニケーション能力の獲得を支える環境が提供されていたことが窺われる。

令和5年度卒業生アンケート集計結果の報告・分析（人間形成学科）

・「問6 授業・活動について」の回答は、全ての質問項目で「有意義だった」「どちらかと言えば有意義だった」の合計が85%以上であった。また、教育内容に係る「A.一般教養科目」「B.専門科目」「C.ゼミ」「E.サークル」「F.友人との交際」においては、すべて100%であった。「D.ボランティア」のみ86%であった。これらの結果から、人間形成学科卒業生は、本学の教育内容・学生生活全般に渡って満足度が高いといえる。

・「問7 大学での学びを活かしているか」については、10項目中3項目（「B.社会人としてのスキル」「C.専門分野の知識」「D.専門分野のスキル」）は「そう思う」「ややそう思う」が100%であった。「A.一般教養」「G.自分の考えを伝える」「H.様々な文化や価値観を受け入れる姿勢」「I.物事に主体的に取り組む力」「J.さまざまな人たちと協働する力」は86%であった。一方で、「E.情報を分析する力」は71%、「F.論理立てて考える力」は72%に留まった。これらの結果から、専門的職業人として大学での学びを活かせており、主体的に自分の考えを伝え、他者と協働して取り組む力も概ね活かしているが、それらに比べると情報を分析し論理的に思考する力は十分に活かしていないといえるだろう。情報の分析力や論理的思考力を涵養するような機会の提供が必要であることが示唆された。

・今回の調査ではアンケート発送数が32、回答数が7で回答率が21.9%であった。回答数を高めるための検討が必要であるが、発送数自体が少ない。これは心理コース卒業生のうち10名が大学院進学者であるためであり、回答数を増やして本学における学びをより正確に評価するためには進学者もアンケートの対象者とする必要があるかもしれない。

## 1. アンケート回収率

発送数 87 に対して回答数 26 で回収率 29.2%。一般的な質問紙調査の回収率であれば妥当であるが、関係性からすると低い数値である。卒業後 3 年目を対象として調査しているが、調査の時期を変更したほうが良いのではないかと思われる。例えば、1 年目の終わりの時期 12 月～1 月あたりの時期だと、大学生生活を思い出しやすく、現在の状況を考慮しながらの回答となる。また、大学とのつながりもまだ残っている時期である。本アンケートの調査目的とそれを達成するために相応しい時期を再検討する必要があると考える。

## 2. 勤務地・転職について

福岡県内、筑豊地域、九州・沖縄、と回答している者が 26 名中 24 名。回答者のほとんどが九州圏内で勤務している。26 名中転職を考えている者が 7 名であり、就職後 3 年目の時期、ひととおり仕事にも慣れ、将来の展望について考えていると思われる。

## 3. 授業・活動について

全項目、“どちらかといえば有意義”・“有意義”の回答が 8 割を越えている。特に、「ゼミ」、「友人との交流」の項目は、1 名を除いて“どちらかといえば有意義”・“有意義”と回答しており、少人数での関わりややり取りを有意義と感じていたことが推測される。一方、サークル活動については、“有意義ではなかった”・“どちらかというとも有意義ではなかった”と回答している者が 4 名おり、カリキュラム上（実習等）サークル活動が充実しにくい状況となっていたとも考えられる。コロナ禍で行動制限を余儀なくされた時期でもあり、活動の広がりや困難だったのも一因としてあげられる。

## 4. 大学での学びの活用

「一般教養」は 26 名中 22 名が“ややそう思う”・“そう思う”と回答しており、授業の「一般教養科目」についても、“どちらかといえば有意義”・“有意義”の回答が 23 名であった。授業で学習した事柄が仕事をする中でも特に人と関わることに於いて、活用できているのではないかと推測できる。また、「専門分野の知識」については、当然のことながら、26 名中 24 名が“ややそう思う”・“そう思う”と回答しており、授業内容が活用できていると推測できる。一般教養と専門分野の知識は仕事をする上でどちらも必要であり、教育する側も意識しておくことが大事である。

一方、“論理だてて考える力”や“自分の考えを伝える力”については、肯定的な回答は 26 名中 19 名と若干少ない。しかし、就職先の印象としては“自分の考えを伝える力”は肯定的な意見である。学生は人前で発言することに対する自信のなさのあらわれではないだろうか。講義・演習・実習などで学生が発言する機会を設け、学生の自己効力感を高める支援が必要だと考える。さらに“論理だてて考える力”についても日々の指導の場面を通して培っていきたいと考える。

## 5. 就職先の印象

“自分の考えを伝える力”は、肯定的な回答が 70%を越えており、卒業生が感じているよりも就職先は肯定的に捉えているのではないかと思われる。また、“文化や価値観を受入れる姿勢”や“主体的に取り組む力”・“協働する力”についても、80%前後の高評価を得ており、組織の中で活躍できる力が育ってきていると評価できるのではないだろうか。